



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 ニチハ株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7943 URL <https://www.nichiha.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 龍夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 殿井 一史 TEL 052-220-5111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	89,580	△4.0	8,714	△13.3	8,493	△18.1	6,230	△22.0
2020年3月期第3四半期	93,294	4.4	10,049	4.7	10,373	5.1	7,985	9.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 6,571百万円 (△12.1%) 2020年3月期第3四半期 7,476百万円 (12.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	170.17	169.75
2020年3月期第3四半期	216.31	215.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	144,158	98,630	68.6	2,699.99
2020年3月期	141,483	94,135	66.7	2,579.04

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 98,854百万円 2020年3月期 94,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2021年3月期	-	27.50	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	38.50	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,000	△3.8	11,400	△13.0	11,300	△16.3	8,000	△25.7	218.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	37,324,264株	2020年3月期	37,324,264株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	711,276株	2020年3月期	716,376株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	36,611,511株	2020年3月期3Q	36,918,335株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化した後、経済活動の再開を受けて持ち直しの動きが見られました。

住宅産業におきましては、新設住宅着工戸数は消費増税に伴う前年度からの減少傾向が続く中、新型コロナウイルス感染症の影響が追い打ちをかけ、当第3四半期連結累計期間においては621千戸と前年同期比9.9%の減少となり、当社グループ事業と関係が特に強い戸建て住宅も同11.3%の減少となりました。

これに伴い、当社グループの主力製品である窯業系外装材の当第3四半期連結累計期間における業界全体の国内販売数量は、前年同期比10.2%（JIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準）の減少となりました。

このような市場環境の下、当社グループは、耐候性等に優れた「Fu-ge」（フュージェ）や塗膜30年保証に対応した商品に代表される高付加価値商品の拡販に取り組むとともに、2020年1月より開始した高級品タイプの軽量化について順次切替を進めて参りました。また、米国事業を始めとする海外マーケットについてもさらなる開拓を進めるとともに、国内非住宅市場においては商業施設向けや中高層建築物向けの開拓に努める一方、生産、販売などあらゆる領域にわたる徹底したコストダウンにも注力いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	
			金額	率（%）
売上高	93,294	89,580	△3,714	△4.0
営業利益	10,049	8,714	△1,335	△13.3
経常利益	10,373	8,493	△1,879	△18.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,985	6,230	△1,755	△22.0

売上高につきましては、主力の国内事業は高付加価値商品の拡販などにより業界内シェアを順調に上昇させたものの、業界全体の販売量が大幅に減少したことを主因に減収、米国窯業系外装材事業も減収となったことから、全体の売上高は895億80百万円と前年同期比37億14百万円（△4.0%）の減収となりました。なお、業界内シェアにつきましては、当第3四半期連結累計期間では54.2%と前年同期比3.7ポイント、当第3四半期連結会計期間（3ヵ月）では54.8%と前年同期比3.0ポイントそれぞれ上昇しました。

損益につきましては、主力の国内事業においてエネルギー価格を含めた生産のコストダウンや営業固定費の削減は進んだものの、減収及び在庫減の影響により営業利益は87億14百万円と前年同期比13億35百万円（△13.3%）、経常利益は為替差損の発生などから84億93百万円と同18億79百万円（△18.1%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前期の中国子会社における固定資産売却益がなくなったこともあり、62億30百万円と同17億55百万円（△22.0%）の減益となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

外装材事業

売上面では、前記のとおり、国内外装材事業、米国窯業系外装材事業のいずれも減収となったことから、売上高は829億56百万円と前年同期比31億14百万円（△3.6%）の減収となりました。

また、損益面でも、国内外装材事業、米国窯業系外装材事業ともに減益となったことから、セグメント利益（営業利益）は109億65百万円と前年同期比9億85百万円（△8.2%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比し純資産が44億94百万円、総資産が26億74百万円それぞれ増加した結果、自己資本比率は68.6%と1.9ポイントの増加となりました。

増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が34億67百万円減少したことなどにより、全体で36億44百万円減少しております。また、固定資産では有形固定資産が54億64百万円、投資その他の資産が8億52百万円それぞれ増加したことにより、全体では63億19百万円増加しております。

負債では、流動負債が32億56百万円減少した一方で、固定負債が14億36百万円増加したことにより、負債合計は18億19百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期（自2020年4月1日至2021年3月31日）の通期の連結業績予想につきましては、2020年11月6日に公表いたしました業績予想（以下、「前回発表予想」）を次のとおり修正しております。

2021年3月期の修正後業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
連結	119,000	11,400	11,300	8,000	218.51

(参考) 前回発表予想 (2020年11月6日公表)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
連結	116,000	9,500	9,600	6,700	183.01

通期連結業績予想の修正の理由

前回発表予想においては、国内、海外ともに新型コロナウイルス感染症の影響により市況が悪化することを想定しておりましたが、足元においては持ち直しの動きが見られるなど、市場の落ち込み幅は前回発表予想時の想定よりも小さくなると見込まれます。加えて、高付加価値商品の拡販等によるシェアアップ及びコストダウンも進んでいることから、売上高、営業利益、経常利益、並びに親会社株主に帰属する当期純利益は、それぞれ前回発表予想を上回ると予想されます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,725	33,257
受取手形及び売掛金	26,034	28,725
商品及び製品	13,021	9,695
仕掛品	2,142	1,611
原材料及び貯蔵品	3,122	3,206
その他	887	1,783
貸倒引当金	△48	△41
流動資産合計	81,883	78,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,069	10,405
機械装置及び運搬具（純額）	10,013	10,045
工具、器具及び備品（純額）	344	393
土地	20,396	20,394
リース資産（純額）	214	197
建設仮勘定	6,968	13,036
有形固定資産合計	49,007	54,471
無形固定資産		
リース資産	41	30
ソフトウェア	914	1,005
その他	350	272
無形固定資産合計	1,307	1,309
投資その他の資産		
投資有価証券	4,624	5,727
繰延税金資産	3,209	2,547
退職給付に係る資産	211	211
その他	1,268	1,678
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	9,285	10,138
固定資産合計	59,600	65,919
資産合計	141,483	144,158

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,682	14,741
短期借入金	1,509	1,396
リース債務	107	97
未払法人税等	2,150	113
賞与引当金	1,586	678
役員賞与引当金	112	67
製品保証引当金	396	247
その他	9,370	9,318
流動負債合計	29,916	26,660
固定負債		
長期借入金	13,427	14,732
リース債務	169	149
繰延税金負債	341	419
役員退職慰労引当金	159	143
製品保証引当金	1,162	1,162
退職給付に係る負債	1,973	2,068
その他	198	191
固定負債合計	17,431	18,868
負債合計	47,348	45,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,136	8,136
資本剰余金	10,933	10,934
利益剰余金	76,049	80,174
自己株式	△1,300	△1,291
株主資本合計	93,818	97,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,502	2,274
為替換算調整勘定	△504	△1,019
退職給付に係る調整累計額	△403	△354
その他の包括利益累計額合計	594	899
新株予約権	138	155
非支配株主持分	△415	△379
純資産合計	94,135	98,630
負債純資産合計	141,483	144,158

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
売上高	93,294	89,580
売上原価	55,930	55,119
売上総利益	37,363	34,460
販売費及び一般管理費	27,314	25,746
営業利益	10,049	8,714
営業外収益		
受取利息	117	16
受取配当金	80	72
不動産賃貸料	66	65
為替差益	15	—
その他	185	118
営業外収益合計	464	272
営業外費用		
支払利息	92	87
為替差損	—	376
その他	47	29
営業外費用合計	140	493
経常利益	10,373	8,493
特別利益		
固定資産売却益	554	5
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	554	6
特別損失		
固定資産除却損	26	56
投資有価証券売却損	94	—
新型コロナウイルス対応による損失	—	17
特別損失合計	121	74
税金等調整前四半期純利益	10,806	8,425
法人税、住民税及び事業税	2,431	1,826
法人税等調整額	329	330
法人税等合計	2,761	2,157
四半期純利益	8,044	6,268
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,985	6,230
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	38
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	772
為替換算調整勘定	△663	△518
退職給付に係る調整額	33	49
その他の包括利益合計	△568	302
四半期包括利益	7,476	6,571
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,419	6,535
非支配株主に係る四半期包括利益	56	35

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	85,425	7,868	93,294	—	93,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	645	1,797	2,443	△2,443	—
計	86,070	9,666	95,737	△2,443	93,294
セグメント利益又は損失(△)	11,950	378	12,329	△2,280	10,049

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△23億26百万円及びその他の調整額46百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	82,304	7,275	89,580	—	89,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	651	1,628	2,279	△2,279	—
計	82,956	8,903	91,859	△2,279	89,580
セグメント利益又は損失(△)	10,965	△22	10,943	△2,228	8,714

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△22億80百万円及びその他の調整額51百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。